

平成二十七年城下町「からつ」俳句コンクール応募句総評

第二十回を迎えた平成二十七年の城下町「からつ」俳句コンクールは、百四十九名の方から百八十三句の応募を頂きました。

投句をいただいた観光客の地区は福岡県が圧倒的に多く、次いで佐賀・千葉・神奈川・岐阜・大坂・東京・三重・愛知・岡山・兵庫・熊本・鹿児島・香川・茨城・宮崎・広島・山口・静岡・札幌の順になっており、広域にわたって唐来いただいております。今回は沖縄県からの来唐はありませんでした。

投句をいただいた年齢層は六十代の一位を筆頭に、二位が七十代・三位が二十代・ついで十代・四十代・五十代・三十代・八十代・九十代となっており、次の世代を背負う十代・二十代の若年層の投句が目立ったのは頼もしくも喜ばしいことでした。投句をいただいた男女の比率は男性五十二%、女性四十八%になっています。

投句をいただいた場所は、唐津城の天守閣一階・エレベーターの上下二ヶ所・アルピノ物産展示場・虹の松原ホテル・旧高取邸・埋門ノ館・旧唐津銀行の八カ所で観光客の訪れる著名な場所は、網羅されており、その他郵便・ファックスでも受け付けられており、投句場所は以前よりも増えて、担当スタッフの努力と意気込みが感じられます。

俳句を吟じられた場所は、唐津城及び天守閣が圧倒的に多く、次いで唐津城周辺の四季・唐津の秋祭（供日）及び近年著名になった高島の宝当神社、呼子の烏賊などもグルメ志向の観光には喜ばれる様です。

唐津城は平成二十年から石垣の修復工事に入っており、その完成が待たれる所です。復元が成り、舞鶴城の美しい全容を見せて、年々観光客が増加してゆく日を鶴首して待ちたいと思います。

平成二十八年一月

選者 日本伝統俳句協会 評議員

ホトトギス同人・花鳥・同人

唐津観光俳句会 会長

田邊虹志 記